



才能教育夏期学校の意義

(社)才能教育研究会 会長

中 嶋 嶺 雄 (国際社会学者)

今年も松本市での才能教育研究会夏期学校が8月3日から6日まで、長野県松本文化会館、松本市総合体育館、まつもと市民芸術館、あがたの森文化会館、才能教育会館、スズキ・メソッド研究所、勤労者福祉センター、松本第一高等学校、旭町中学校、開智小学校、本郷小学校を会場にして開かれます。2010年の夏期学校は第61回となりますので、わが国の戦後教育界においても、もっとも長い歴史と伝統を有するユニークな教育イベントだといってもよいでしょう。全国そして世界の各国・各地域からお出でくださった皆さん、ようこそ松本へ。

松本市は日本の地方都市のなかでも北アルプスや美ヶ原高原の山々に囲まれた個性的な文化都市であり、それを山岳の「岳」、学問の「学」、音楽の「楽」という3つの「がく」をとって、「岳都」・「学都」・「楽都」と表現しています。音楽の「楽」にはここ10数年来、サイトウ・キネン・フェスティバルも加わりました。しかし、その源泉はなんといっても私たちの偉大な恩師である鈴木鎮一先生(1898~1998)が終戦直後の1946(昭和21)年10月に松本市の文化人や音楽家の協力で立ち上げた松本音楽院であり、その経験をもとに1948(昭和23)年4月に発足した幼児の音楽教育のための才能教育研究会だと思います。スズキ・メソッドとして知られる才能教育は、皆様ご承知のように、いまや全世界に広がっております。

松本に生まれ育った私は、毎年夏に帰省すると、小さなヴァイオリン・ケースを手にした子供さんたちとお母さんを駅や街角でよく見かけることがありました。そうした光景を私はいつも微笑ましく思っていました。外国からの参加者も多い才能教育研究会の恒例の夏期学校のおかげで、松本市は全国の都市に先駆けて国際化されてきていたのです。いまや全世界に約40万人の生徒を擁するスズキ・メソッドの広がりによって、MATSUMOTOの地名も世界的にかなり知れわたっております。

私自身は終戦直後の1947(昭和22)年1月から才能教育研究会の前身である松本音楽院で鈴木鎮一先生に直接ヴァイオリンを教えていただいたのですが、その鈴木先生はもう半世紀以上も前に、「義務教育まえのすべての子どものよい成長のために全精力を注いでほしい」(鈴木鎮一著『愛に生きる—才能は生まれつきではない』、講談社現代新書、1966年初版)と唱えていました。

そのような幼児教育の重要性が、今日の教育崩壊や家庭での人間関係の喪失に直面して、改めて認識されつつあるのが現状だといってもよいでしょう。現に2006年12月に60年ぶりに改正された教育基本法は、その第11条に「幼児期の教育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものであることにかんがみ、国及び地方公共団体は、幼児の健やかな成長に資する良好な環境の整備その他適当な方法によって、その振興に努めなければならない」と明記しております。この点でも長野県や特に松本市にはご支援ご協力を賜りたく思っておりますので、何卒よろしく願いいたします。

信州の夏はとても快適な日々ですので、今年も夏期学校に参加される約3000名もの皆様楽しい思い出を残されますことを念願しております。

SUZUKI METHOD

第61回 夏 期 学 校

SUMMER SCHOOL

MATSUMOTO



— 2010 —

8 月 3 日 - 6 日

Aug. 3rd-6th

会 場

長野県松本文化会館
松本市総合体育館
松本第一高等学校
松本市立旭町中学校
松本市立本郷小学校
松本市立開智小学校

あがたの森文化会館
長野県松本勤労者福祉センター
まつもと市民芸術館
才能教育会館
スズキ・メソード研究所

観 才 能 教 育 研 究 会

後 援

松 本 市 松本市教育委員会
松 本 商 工 会 議 所 観松本青年会議所
一般社団法人松本観光コンベンション協会